

町長日記



興国寺の燈籠焼 とうろうやき

毎日暑い日が続いていますが、いかがお過ごしですか。

さて、8月15日には「興国寺の燈籠焼」が行われます。この行事は、鎌倉時代から続く孟蘭盆会うらぼんえの精霊送りしやうりやうとして「六斎念仏（ろくさいねんぶつ）」「松明踊（たいまつおどり）」「大松明（どよう）」「燈籠（とうろう）焼」からなるもので、昭和37年2月に和歌山県の無形民俗文化財に指定されました。新型コロナウイルス感染症の流行により、一部行事が縮小された時期もありましたが、世代を超え多くの関係者のご尽力によりこの伝統行事は受け継がれています。

この時期は、帰省されるご家族やご友人と故郷の良さを再確認する良い機会でもあります。

時代が変わっても、こうした人と人とのつながりや故郷を大切にする温かい心は大切にしていきたいですね。

由良町長 山名 実